

2025年度「ふれあいの里・どんぐり」・「第1どんぐりホーム」  
地域連携推進会議 記録(要旨)

日時 2025年9月11日(木) 10時~14時  
会場 ふれあいの里・どんぐり 生活棟 2階 会議室  
出席者

1	委員	一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会
2		埼玉県手話通訳問題研究会
3		埼玉県手話サークル連絡協議会
4		ふれあいの里・どんぐり
5		ふれあいの里・どんぐり家族会
6	事務局	ふれあいの里・どんぐり 施設長
7		ふれあいの里・どんぐり 支援部主任
8		ふれあいの里・どんぐり 相談支援部主任

1. 施設長あいさつ
2. 出席委員紹介
3. 本日の流れについて
4. 施設見学  
(1) ふれあいの里・どんぐり(生活棟・作業棟)  
(2) 第1どんぐりホーム
5. 昼食・休憩
6. 報告・質疑応答・意見交換

○報告

題名:「ふれあいの里・どんぐり」「第1どんぐりホーム」の紹介

- ・「ふれあいの里・どんぐり」「第1どんぐりホーム」開所から現在までの歴史
- ・ふれあいの里・どんぐりの事業内容
- ・仲間の年齢層と障害支援区分
- ・仲間の居住地
- ・仲間たちの障害状況
- ・仲間たちのコミュニケーション方法
- ・コロナ禍のどんぐり
- ・作業班の紹介
- ・「ふれあいの里・どんぐり」「第1どんぐりホーム」の課題
- ・ふれあいの里・どんぐり中長期計画(3本柱)
- ・どんぐりの施設理念

○質疑応答・意見交換

1. 安全管理・施設設備への指摘
  - ・誤認防止・防災:居室の名札と実際の仲間が一致していない。火災などの有

事や救急隊到着時に危険なため、早急な修正が必要ではないか。

- ・設備不備：避難用スロープに手すりがない。壁の破損が放置されている箇所がある。
- ・衛生・美観：医務室のゴミ箱や玄関前（資源ゴミ）のゴミが目立つ。パン班の清掃体制や換気（特に浴室の湿気・カビ対策）の徹底が必要。  
回答：破損は繰り返し壊れてしまう事情もあるが改善に努める。浴室の換気は、窓を閉めたがる仲間の特性もあり難しい面があるが、工夫したい。

## 2. 生活環境・プライバシーについて

- ・居室の個室化：感染症対策（百日咳など）やプライバシー、広さの観点から「個室化」を求める声が強かった。  
回答：二人部屋には「仲間同士の助け合い（誘導など）」や「寂しさの軽減」といったメリットもある。
- ・洗濯物：女性の下着が廊下に干されている点について、プライバシーの懸念が出された。  
回答：男性が立ち入らないエリアとし配慮しているが、湿気が多い日は室内に干せず廊下を使用している。
- ・入浴：湯量の基準がなく、事故防止の観点で懸念がある。  
回答：職員が必ず見守りをしているが、具体的な水位ルール等は検討する。

## 3. 作業・工賃について

- ・工賃の水準：月額6,000円～7,000円（時給100円）という金額に対し、委員からは「安いのではないか」との意見が出された。  
回答：重度の障害者を対象とする「生活介護」であり、生産活動が主目的の「就労B型」とは報酬体系が異なる。しかし、働きたいという仲間本人の意思を尊重して作業を提供しており、今後も工賃アップを目指したい。

## 4. 職員体制・その他

- ・職員への気づかい：仲間のスペースは綺麗だが、職員のスペースが汚れていた。「仲間を一番に考えていると捉えたが、職員も大切にして欲しい」という懸念と労いの言葉があった。
- ・医療連携：薬の管理は看護師3名体制で、小分けにして準備している。
- ・全体総括：定期的な外部の目は環境改善に有効であるため、今後も年1回ベースで会議を実施する。